

## IV. 募集のお知らせ

### 1. 2016 年度春季研究発表会（東京大学にて 2016 年 6 月 18[土]、19[日]を予定） における個人・共同研究発表の募集

#### 1. 発表資格

- (1) 日本マス・コミュニケーション学会会員であり、応募年度までの学会費を完納していること。
- (2) 非会員の場合は、応募と同時に学会への入会申し込みをすること（入会方法については学会サイトを確認すること）。

※応募の採否、及び採用された場合の発表順序などについては、企画委員会にご一任願います。

#### 2. 発表テーマ

本学会の趣旨に沿った分野の内容で、未発表のものに限ります。

#### 3. 発表時間

原則として、個人研究発表は 30 分（発表 20 分、質疑 10 分）、共同研究発表は 40 分（発表 30 分、質疑 10 分）とします。ただし、発表本数を考慮して時間短縮を行う場合もあります。

#### 4. 応募要領

日本マス・コミュニケーション学会のサイト <http://www.jmscom.org/> から「個人・共同研究発表への応募文書」(Word ファイル)をダウンロードして、同文書に記載されている 1～6 の項目すべてについて、【留意事項】を遵守して記入し、記入済みのファイルを電子メールに添付して送付してください。送付先と応募締切は次のとおりです。

※記入されていない項目があったり、【留意事項】が守られていない場合は、採択を不可とすることがありますのでご注意ください。

[送付先及び応募締切]

送 付 先：国際文献社 日本マス・コミュニケーション学会 会員業務係

Email : [mscom-post@bunken.co.jp](mailto:mscom-post@bunken.co.jp) (TEL 03-5937-0329)

応募締切：2016年2月11日（木）※必着厳守（受領確認のメールを送ります。もし受領確認メールが届かない場合には、再送してください。）

※採否は、3月末までにお知らせします。

## 5. 注意事項

- 研究発表は、研究が終了したものについて行うことを原則とします。ただし、継続中の研究の一部に関して発表する場合は、重要な知見が得られ、独立した研究として発表可能なものであることを条件とします。
- 研究発表は、得られた知見を中心に行ってください。
- レジюме、資料等は発表者が所定の部数を用意して、発表当日に会場に持参するか、あるいは定められた期日までに開催校の所定の部署へ送付してください。期日及び送付先、資料等の所定の部数は、後日採用のお知らせとともにご案内しますので、必ずご確認ください。なお、開催校・学会事務局ではコピーを受け付けないのでご注意ください。
- 研究発表会直前になっての視聴覚機器利用の新規申し込みは、開催校に対して大きな負担をかけることとなりますので、利用の有無は応募時点で確定してください。
- 応募が採用された場合、「キーワード」と「発表要旨」を会報・プログラムに掲載します。
- 「研究発表論文集」のオンライン公開について  
発表予定者の方々には口頭発表に先立ち「研究発表論文(予稿)」を作成していただき、それを pdf ファイル化して学会サイトで閲覧できるようにします。これは、①会員が発表内容を事前にある程度詳しく知ること、当日にどの発表を聴くかの選択や、会場での質疑・議論の活性化に資すること、②学会発表を、発表者が研究業績として業績一覧等により記載しやすく、また他の研究者にとっても引用しやすい形式にすること、の2点を目的としたものです。発表申込みが承認された方には「研究発表論文」作成依頼をお送りいたします。なにとぞご協力をお願いします。
- 一つの研究発表会での個人・共同研究発表において、発表者として複数のエントリーをすることはご遠慮ください。
- 英語による口頭発表も受け付けます。その場合には発表要旨も英語で作成していただきます。英語による発表を希望する会員は、応募される前に上記の国際文献社日本マス・コミュニケーション学会会員業務係へその旨をメールでご連絡ください。